

2020オイスカ友の会「愛と絆」の集い

人と地球に「愛」惜しみなく

〈第2部〉

余命半年、ガン宣告から
奇跡の21年！

「命はそんなにやわじゃない」



魂のシンガーソングライター
杉浦 貴之氏



2021.1.24 (日)

14:00~16:00 (13:30開場)

末野原交流館 豊田市豊栄町11-36-1

参加費 **無料**

定員 120名 (先着順)

(コロナ情勢により変更あり)

〈第1部〉

大震災から10年
よみがえれ白砂青松！

「海岸林再生の現場から」

(宮城県名取市 仙台空港横)



対談

元日本経済新聞社論説委員 小林 省太氏

×

海岸林再生プロジェクト担当部長 吉田 俊通氏



主催 オイスカ友の会

後援 末野原地区区長会、末野原交流館

協力 鶯鴨自治区、オイスカ中部日本研修センター、オイスカ豊田推進協議会、末野原中学校

〈問い合わせ〉オイスカ友の会 (佐藤 090-8670-9380)、末野原交流館 (0565-26-6200)

杉浦貴之プロフィール

奇跡の21年 家族の愛

1971年愛知県生まれ。
1999年28歳にしてガン宣告。PNET(未分化原子神経外胚葉性腫瘍)と呼ばれる特殊な腫瘍で、当時同じ症例で2年以上の生存例がなく、「早くて半年、2年後の生存率0%」と言われる。左腎摘出手術の後、抗がん剤治療2クール。医療、家族などのサポートにより、再発せずに21年経過。

2005年、主にかん体験者の想いを綴ったマガジン『メッセンジャー』を創刊。病床で描き続けた夢を実現させ、見違えるほど元気になり、トーク&ライブでオリジナルソングを歌いながら、人間の無限の可能性を伝えるようになる。2010年～2019年がんサバイバーホノルルマラソンツアーを主宰。

「奇跡体験!アンビリバボー」など出演。トークライブ、学校での講演、『メッセンジャー』の取材と全国を駆け回っている。2011年12月「命はそんなにやわじゃない」を出版。



小林省太プロフィール

1955年東京都生まれ。
東京大学文学部仏文科卒業後、日本経済新聞社パリ支局長、文化部長などを経て、論説委員兼編集委員等を歴任。

2016年からオイスカアドバイザー。プロジェクトの立ち上げから現在までの10年の経過を取材し、100名以上へのインタビューをまとめた「松がつなぐあしたー震災10年 海岸林再生の記録ー」を2020年12月に出版。



吉田俊通プロフィール

1969年神奈川県生まれ。
1994年からオイスカに勤務。
2007年から2年間、神奈川の林業会社に勤務し、林業労働者として伐採などの実務に従事。
2009年にオイスカに復職し、東日本大震災後に海岸林再生プロジェクトの担当となる。



オイスカ友の会

農・工業の技術教育を通して開発途上国への支援や地球の環境問題(植林)、そして近年は、壊滅した東日本の海岸林(宮城県名取市)の再生活動等に取り組む国際的NGOのオイスカ(本部 東京)の活動を、当地域(寿恵野小学校区中心)で支え、40年余の歴史を持つ組織です。

オイスカ中部日本研修センターの研修生と当地子どもたちとのバーベキュー交流会や当会員とセンターでの共同農作業等を通して、国際協力の重要性の啓発に努めています。また、フィリピンのネグロス島には、マングローブ植林の「スエノの森」があり、現地青少年の教育支援活動にも取り組んでいます。

〈海岸林再生プロジェクト10年の実績〉

- 2011.3.11 東日本大震災 発生
- 同 3.17 林野庁長官に海岸林再生の協力申出
- 同 10.30 ボーイング787型機就航記念「海岸林視察ツアー」を開催(協力:ANA)
- 2012.2.29 被災された農家の方々による「名取市海岸林再生の会」設立
- 同 3.30 初めての種まき(約100,000粒)
- 同 4.28 発芽確認
- 2013.4.19 初めてのボランティア受入れ
- 2014.2.13 宮城県・名取市との協定締結
- 2014.5.24 第1回植樹祭開催
- 2015.3.14 「グッドライフアワード」優秀賞受賞
- 2017.7.24 インフラメンテナンス大賞で「農林水産大臣賞」受賞
- 2017.9. 6 名取市海岸林再生の会の苗木が「林野庁長官賞」受賞
- 2018.7. 5 復興庁から感謝状拝受
- 2019 ボランティア1万人突破
- 2020.10 最後の植栽完了

アクセス 豊田市末野原交流館

〒470-1201 愛知県豊田市豊栄町11-36-1 [愛知環状鉄道「末野原駅」下車徒歩5分]
TEL:0565-26-6200 FAX:0565-26-6210

Ⓟ臨時駐車場:末野原運動広場